

【団体名】 まちの森人舎**【事業名】 水が生まれる森をまるごと探検しよう****【事業の目的】**

現代の山村を知ってもらうことで、子供たちに上・下流の人の「水」のつながりに気づいてもらい、流域の木を使うことが、自分たちの「水」を守ることにつながることを知ってもらう。

【実施内容】

「水が生まれる森をまるごと探検しよう」の講座に小学校4年から6年の児童14名が参加。

8月24日、25日に根羽村水源林を訪れ、湧き水を味わい、川遊びや森の散策を通し、水の恵みを五感で感じた。その中で間伐など森を手入れすることが水をきれいにすることにつながることを理解した。また、地元のお年寄りから、昔と今の森や川の様子の違い、森での昔の暮らしを教えてもらい、森と水と暮らしの関係を理解した。



9月18日に山で集めた枝で水源林を身近に感じるように、バターナイフを作成した。

10月8日に根羽村でお年寄りから聞いた話を質問形式により、改めてふりかえり、森や水についてさらに深く考え、感じたこと思ったことを「聞き書き集」としてまとめた。

【成果】

水に関して多様な体験を通し、子どもたちに立体的に水と自分とのかかわりを考させることができた。また、根羽村のお年寄りから子供の頃の実体験を傾聴して、子どもなりに暮らしと森と水の関係について深く理解し、森や水を守るために自分たちが何をすべきかを気づかせた。

